

発刊にあたって

富士宮市環境白書は、富士宮市環境基本条例に基づき策定された富士宮市環境基本計画の適正な進行管理を図るため、環境の現状や環境施策の実施状況等を公表することを目的として、毎年作成しています。

また、富士宮市環境基本計画は、本市の最上位計画である第5次富士宮市総合計画の将来都市像について、環境面からそれを実現する計画として位置付けられており、本年度は、第2次富士宮市環境基本計画の中間見直しの中で、脱炭素社会の実現を目指すことを新たな目標に加えています。

本市は、令和3年1月に「ゼロカーボンシティ」を宣言しました。そして、同年5月には本市が提案した「富士山を守り 未来につなぐ 富士山SDGs」が、内閣府から「SDGs未来都市」に選定されました。

これを受け、本市では、市民や事業者の皆様と一丸となって持続可能なまちづくりに取り組むとともに、脱炭素社会の実現を目指して各種事業に取り組んでまいります。

さらに、本市では、SDGsの理念を基に、パートナーシップで持続可能なまちづくりを目指すため、地域資源を活用し環境ビジネスを創出する「地域循環共生圏づくり事業」や、市民全体でごみの減量化と資源化に取り組む「ごみダイエットプロジェクト」などについても、引き続き推進してまいりますので、今後とも皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

結びに、本書を通じて、市の環境の現状について理解を深めていただくとともに、本書が今後の市の環境を考えるバイブルとして、市民の皆様のご活動に役立てていただければ幸いです。

令和3年12月

富士宮市長 須藤 秀忠

